

Ⅳ. 学校推薦型選抜

1. 各学部・学科課程（コース・専攻）の募集人員・出願要件・選抜方法等

区 分	共 通 テ ス ト を 課 す
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻
募 集 人 員	宮崎県教員希望枠 25人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 卒業後は、宮崎県の小学校の教員となることを希望している者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。
	○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・国（国語） ・数（「数Ⅰ」、「数Ⅰ，数A」から1）と（「数Ⅱ，数B，数C」）の2 ・外（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から1） [3教科4科目]
	※指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストについては、27ページの注意事項（教育学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和7年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和6年12月16日（月） ～ 12月18日（水）
選 抜 期 日	令和7年1月23日（木）・24日（金） ※ いずれか1日、又は2日間の受験となります。 ※ 受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和7年2月12日（水）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から8人以内とします。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 す
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 小中一貫教育コース 中学校主免専攻
募 集 人 員	7人 ※選択できる教科は国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び英語です。
出 願 要 件	1. 高等学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 中学校及び小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 出願時に選択した教科の教育に対する熱意を有する者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後は、出願時に選択した教科を専修とすることを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。 ○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・国（国語） ・外（英（<i>リスニング</i>を含む）、独、仏、中、韓から1） ・数（「数Ⅰ」、「数Ⅰ，数A」、「数Ⅱ，数B，数C」） ・地歴・公民（「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、 （「地総／歴総／公共」から2）） ・理（物、化、生、地学、（物基／化基／生基／地基から2）） ・情（情Ⅰ） } から 1 [3教科3科目] ※数学、地歴・公民、理科及び情報において、受験する科目のうち高得点の科目の成績を採用します。 ※地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。 ※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストについては、27ページの注意事項（教育学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和7年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和6年12月16日（月） ～ 12月18日（水）
選 抜 期 日	令和7年1月23日（木） 又は 24日（金） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和7年2月12日（水）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から3人以内とします。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 さ ない
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 教職実践基礎コース
募 集 人 員	宮崎県教員希望枠 7人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 小学校教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績概評がA段階に属し、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 卒業後は、本学大学院教育学研究科に進学することを志望し、宮崎県の小学校の教員となることを希望している者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接、小論文及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和6年11月1日（金） ～ 11月6日（水）
選 抜 期 日	令和6年11月20日（水） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和6年12月6日（金）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から3人以内とします。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 す
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻
募 集 人 員	3人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 小学校教育及び幼稚園教育に対する熱意を有し、教員としての適性があり、学習成績全体の評定平均値が4.0以上で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テストの成績、面接及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。 ○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・国（国語） ・数（数Ⅰ，「数Ⅰ，数A」から1）と（数Ⅱ，数B，数C）の2 ・地歴・公民（「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、「地総／歴総／公共」から2）から1又は2） ・理（物，化，生，地学（物基／化基／生基／地基から2）から1又は2） ・外（英（リスニングを含む）、独，仏，中，韓から1） ・情（情Ⅰ） から3 (注☆) 〔6教科8科目又は7教科8科目〕 （注☆）次の①②よりいずれか選択 ①地歴・公民から2科目と理科から1科目（同一名称を含む科目（「公共，倫理」と「公共，政経」の選択は不可。また、「地総／歴総／公共」を選択した場合、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む他の科目の組合せの選択は不可。） ②地歴・公民から1科目と理科から2科目（同一名称を含む科目（物基と物，化基と化，生基と生，」の選択は不可。） ※大学入学共通テストについては、27ページの注意事項（教育学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和7年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和6年12月16日（月） ～ 12月18日（水）
選 抜 期 日	令和7年1月24日（金） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和7年2月12日（水）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 さ な い
実施学部・学科等名	教 育 学 部
	学校教育課程 発達支援教育コース 特別支援教育専攻
募 集 人 員	3人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 特別支援学校教員になることに対する熱意を有し、特別支援学校教員としての適性があり、学習成績概評がA段階に属し、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接、小論文及び出願書類（推薦書及び調査書）の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和6年11月1日（金） ～ 11月6日（水）
選 抜 期 日	令和6年11月20日（水） ※受験者数によっては、長時間にわたることもあります。
合 格 発 表 日	令和6年12月6日（金）
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から2人以内とします。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 す		
実施学部・学科等名	医 学 部		
	医 学 科		
募 集 人 員	地 域 枠 A	地 域 枠 B	地 域 枠 C
	10人	15人	15人
出 願 要 件	1. 【地域枠A】宮崎県内の高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者 【地域枠B】宮崎県内の高等学校を令和5年3月以降に卒業の者又は令和7年3月に卒業見込みの者 【地域枠C】宮崎県を含めた全国の高等学校を令和5年3月以降に卒業の者又は令和7年3月に卒業見込みの者 2. 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、医師として活躍し得る能力・適性を有する者で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. キャリア形成卒前支援プラン（入学時から卒業時まで）及びキャリア形成プログラム（卒業後）の適用を受けること。また、卒業後は、宮崎大学医学部附属病院又は県内の基幹型臨床研修病院において臨床研修プログラムに参加し、臨床研修修了後も引き続き宮崎の医療に従事するとともに、宮崎県が指定する県内の医療機関に一定期間勤務し、「キャリア形成プログラム」に参加することを約束できる者（出願時に「確約書」を提出すること。） 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 5. 入学後は「宮崎県医師修学資金」の貸与を受ける者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。		
選 抜 方 法 等	（第1次選考） 高等学校長の推薦書・調査書及び自己推薦書による書類審査、集団討論を総合して合格者（宮崎県の推薦者）を決定します。 （第2次選考） 第1次選考合格者（宮崎県の推薦者）を対象者とし、面接を行い、第1次選考結果及び大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。なお、面接に際しては、筆記による面接資料の作成を課すことがあります。		
	○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・ 国（国語） ・ 地歴・公民（「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公共、倫理」、「公共、政経」、（「地総／歴総／公共」から2））から1 ・ 数（「数Ⅰ、数A」と（「数Ⅱ、数B、数C」）の2 ・ 理（物、化、生）から2 ・ 外（英（リスニングを含む）） ・ 情（情報Ⅰ） [6教科8科目]		
	※地歴・公民を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。 ※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストについては、28ページの注意事項（医学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和7年度のものに限り利用します。		

出 願 期 間	(第1次選考) 令和6年11月 1日(金) ～ 11月5日(火) (第2次選考) 令和6年12月 2日(月) ～ 12月4日(水)
選 抜 期 日	(第1次選考) 令和6年11月13日(水) (第2次選考) 令和6年12月18日(水)
合 格 発 表 日	(第1次選考) 令和6年11月28日(木) (第2次選考) 令和7年 2月12日(水)
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 す
実施学部・学科等名	医 学 部
	看 護 学 科
募 集 人 員	20人
出 願 要 件	1. 高等学校を令和7年3月に卒業見込みの者 2. 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属し、看護師・保健師として活躍し得る能力・適性を有する者で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	高等学校長の推薦書・調査書及び志望理由書による書類審査、小論文、面接、大学入学共通テストの成績を総合して合格者を決定します。
	○ 大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・ 国（国語） ・ 数（数Ⅰ，数A）と（数Ⅱ，数B，数C）の2 ・ 外（英(リスニングを含む)） [3教科4科目] ※指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストについては、28ページの注意事項（医学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和7年度のものに限り利用します。
出 願 期 間	令和6年11月1日（金） ～ 11月6日（水）
選 抜 期 日	令和6年11月26日（火）
合 格 発 表 日	令和7年 2月12日（水）
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。

区 分	共通テストを課さない（宮崎県就職希望枠）			
学部・課程等	工学部・工学科 化学生命プログラム・土木環境プログラム・半導体サイエンスプログラム 電気電子システムプログラム・機械知能プログラム・情報通信プログラム			
募 集 人 員	普通科区分※ ¹		専門学科※ ² ・総合学科区分	
	化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	3人	化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人
	土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	5人	土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	2人
	半導体サイエンスプログラム	2人	半導体サイエンスプログラム	2人
	電気電子システムプログラム	4人	電気電子システムプログラム	2人
	機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	3人	機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	3人
	情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人	情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人
出 願 要 件	次の各号に該当する者 （１）高等学校※ ³ または専修学校の高等課程を令和６年４月から令和７年３月までに卒業・修了又は卒業・修了見込みの者 （２）志望するプログラムに対する熱意を有し、人物・能力・素質・適性等が優秀で、出身高等学校長等が責任を持って推薦できる者 （３）卒業後は、宮崎県内で就職し、工学人材として活躍する熱意を有する者 （４）合格した場合は入学を確約できる者 ※１ 普通科区分に出願できる者は、普通科及び普通科系専門学科のいわゆる職業教育を主とする学科以外の学科に在籍している者に限る。 ※２ 専門学科・総合学科区分に出願できる者は、工業高校・商業高校・農業高校等の専門教育を主とする学科（いわゆる職業教育を主とする学科）及び総合学科、または専修学校の高等課程のいずれかに在籍している者に限る。 ※３ 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。			
選 抜 方 法	出願書類（推薦書・調査書及び志望理由書）、筆記試験（数学）、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。なお、小論文は普通科区分と専門学科・総合学科区分で異なる出題内容とします。 ※「筆記試験（数学）」の出題範囲は「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」とします。			
出 願 期 間	令和６年１１月１日（金）～１１月６日（水）			
選 抜 期 日	令和６年１１月１８日（月）・１９日（火）※			
合 格 発 表 日	令和６年１２月６日（金）			
そ の 他	推薦人員は、各高等学校から工学科に対して４人以内、かつ各プログラムに対して２人以内とします。 ※筆記試験及び小論文は１１月１８日（月）に実施します。面接はいずれか１日での受験となります。			

区 分	共通テストを課さない（女子枠）													
学部・課程等	工学部・工学科 化学生命プログラム・土木環境プログラム・半導体サイエンスプログラム 電気電子システムプログラム・機械知能プログラム・情報通信プログラム													
募 集 人 員	<table><tr><td>化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム</td><td>2人</td></tr><tr><td>土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム</td><td>3人</td></tr><tr><td>半導体サイエンスプログラム</td><td>2人</td></tr><tr><td>電気電子システムプログラム</td><td>2人</td></tr><tr><td>機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム</td><td>2人</td></tr><tr><td>情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム</td><td>3人</td></tr></table>		化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人	土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	3人	半導体サイエンスプログラム	2人	電気電子システムプログラム	2人	機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	2人	情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人
化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人													
土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	3人													
半導体サイエンスプログラム	2人													
電気電子システムプログラム	2人													
機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	2人													
情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人													
出 願 要 件	次の各号に該当する女子 （１）高等学校※または専修学校の高等課程を令和6年4月から令和7年3月までに卒業・修了又は卒業・修了見込みの者 （２）志望するプログラムに対する熱意を有し、人物・能力・素質・適性等が優秀で、出身高等学校長等が責任を持って推薦できる者 （３）卒業後は工学人材として活躍する熱意を有する者 （４）合格した場合は入学を確約できる者 ※ 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。													
選 抜 方 法 等	出願書類（推薦書・調査書及び志望理由書）、筆記試験（数学）、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。なお、小論文は他の入試枠（宮崎県就職希望枠および一般枠）とは異なる出題内容とします。 ※「筆記試験（数学）」の出題範囲は「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」とします。													
出 願 期 間	令和6年11月1日（金）～11月6日（水）													
選 抜 期 日	令和6年11月18日（月）・19日（火）※													
合 格 発 表 日	令和6年12月6日（金）													
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。 ※筆記試験及び小論文は11月18日（月）に実施します。面接はいずれか1日での受験となります。													

区 分	共通テストを課さない（一般枠）													
学部・課程等	工学部・工学科 化学生命プログラム・土木環境プログラム・半導体サイエンスプログラム 電気電子システムプログラム・機械知能プログラム・情報通信プログラム													
募 集 人 員	<table><tr><td>化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム</td><td>2人</td></tr><tr><td>土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム</td><td>3人</td></tr><tr><td>半導体サイエンスプログラム</td><td>3人</td></tr><tr><td>電気電子システムプログラム</td><td>2人</td></tr><tr><td>機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム</td><td>4人</td></tr><tr><td>情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム</td><td>3人</td></tr></table>		化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人	土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	3人	半導体サイエンスプログラム	3人	電気電子システムプログラム	2人	機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	4人	情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人
化 学 生 命 プ ロ グ ラ ム	2人													
土 木 環 境 プ ロ グ ラ ム	3人													
半導体サイエンスプログラム	3人													
電気電子システムプログラム	2人													
機 械 知 能 プ ロ グ ラ ム	4人													
情 報 通 信 プ ロ グ ラ ム	3人													
出 願 要 件	次の各号に該当する者 （１）高等学校*または専修学校の高等課程を令和6年4月から令和7年3月までに卒業・修了又は卒業・修了見込みの者 （２）志望するプログラムに対する熱意を有し、人物・能力・素質・適性等が優秀で、出身高等学校長等が責任を持って推薦できる者 （３）合格した場合は入学を確約できる者 ※ 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。													
選 抜 方 法 等	出願書類（推薦書・調査書及び志望理由書）、筆記試験（数学）、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。なお、小論文は他の入試枠（宮崎県就職希望枠および女子枠）とは異なる出題内容とします。 ※「筆記試験（数学）」の出題範囲は「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」とします。													
出 願 期 間	令和6年11月1日（金）～11月6日（水）													
選 抜 期 日	令和6年11月18日（月）・19日（火）※													
合 格 発 表 日	令和6年12月6日（金）													
そ の 他	推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。 ※筆記試験及び小論文は11月18日（月）に実施します。面接はいずれか1日での受験となります。													

区 分	共通テストを課さない			
実施学部・ 学科等名	農学部・農学科 動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース			
募 集 人 員	専門学科等区分※1			普通科区分※2
	動植物資源 生命科学コース	7 人	畜産 4 人	動植物資源生命科学コース 8 人
			農業 3 人	
	海洋生命科学コース	2 人		
	区分なし※3			
	森林環境持続性科学コース		7 人	
出 願 要 件	次の各号に該当する者 （１）高等学校※4 を令和6年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績概評がA段階に属する人のうち人物・能力・素質・適性等が特に優秀で 出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 （３）合格した場合は入学することを確約できる者			
	※1 専門学科等区分に出願できる者は、以下の要件に該当する者に限る。			
	動植物資源生命科学 コース	農業高校等の専門教育を主とする学科及び総合学科で 農業に関する科目を 25 単位以上履修（見込みを含む） した者。		
	海洋生命科学コース	高等学校の水産系、海洋系、総合系あるいはこれらに準 ずる学科で水産・海洋系の科目を 25 単位以上履修（見 込みを含む）した者。		
	※2 普通科区分に出願できる者は、普通科及び普通科系専門学科のいわゆる職業教育 を主とする学科以外の学科に在籍している者に限る。 ※3 森林環境持続性科学コースでは専門学科等及び普通科による区分を設けません。出 願できる者は普通科、総合学科、農林業及び工業（情報系、土木系）に関連のある学科 に在籍している者としてします。 ※4 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の 課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施 設の当該課程を含みます。			
選抜方法等	大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。 なお、面接には高等学校等で学習した内容についての基礎的な口頭試問を含みます。			

出 願 期 間	令和6年11月1日（金）～11月6日（水）
選 抜 期 日	令和6年11月19日（火）・20日（水） ※志願者数によっては、1日目で終了する場合があります。
合格発表日	令和6年12月6日（金）
その他	・動植物資源生命科学コースの推薦人員は、各高等学校から専門学科等区分の「畜産」、「農業」にそれぞれ2人以内、普通科区分に2人以内とする。 ・森林環境持続性科学コースの推薦人員は、各高等学校の対象となる学科から2人以内とする。 ・海洋生命科学コースの推薦人員は、各高等学校からの制限はありません。

区 分	共通テストを課す（地域枠）
学部・課程等	農学部・獣医学科
募集人員	若干人（上限2名） ^{（注）}
出願要件	次の各号に該当する者 (1) 全国の高等学校を令和5年4月以降に卒業の者又は令和7年3月に卒業見込みの者 (2) 学業・人物共に優れ、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 (3) 宮崎県の産業動物獣医師確保を目的とした修学資金給付事業の推薦を受けた者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者 (5) 卒業後、宮崎県職員の獣医師として勤務する意思のある者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選抜方法等	大学入学共通テストの成績及び面接の結果を総合して選抜します。 出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）は選抜の際の参考資料とします。 面接では志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力、表現力等を評価・採点するとともに卒業後、宮崎県職員の獣医師として勤務する意思があるか確認し、獣医学科への適性を見ます。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目名 ・ 国（国語） ・ 地歴・公民（「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「公共、倫理」、「公共、政経」、「地総／歴総／公共」から2） ・ 数（「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」の2 ・ 理（物、化、生から2） ・ 外（英（リスニングを含む）） ・ 情（情報Ⅰ） から1 〔6教科8科目〕 ※地理歴史・公民を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱い、受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。 ※指定した教科・科目（第1解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、合否判定の対象とはなりません。 ※大学入学共通テストについては、30 ページの注意事項（農学部）を必ず読んでください。 ※大学入学共通テストの成績は、令和7年度ののものに限り利用します。

出願期間	令和6年12月2日（月）～12月4日（水）
選抜期日	令和6年12月18日（水）
合格発表日	令和7年2月12日（水）
その他	(1) 推薦人員については、各高等学校からの制限はありません。 (2) 他大学の獣医学科等が実施する地域枠入試との併願は認めません。 (3) 本学及び他大学の学校推薦型選抜との併願は認めません。

（注）農学部獣医学科の学校推薦型選抜（地域枠）の募集人員は、一般選抜（後期日程）の募集人員10名の中に含まれます。

区 分	共 通 テ ス ト を 課 さ な い
実施学部・学科等名	地 域 資 源 創 成 学 部
	地 域 資 源 創 成 学 科
募 集 人 員	20名
出 願 要 件	1. 高等学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 学習成績全体の評定平均値が4.0以上に属する者のうち人物・能力・素質・適性等が特に優秀で、出身高等学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。
選 抜 方 法 等	大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の結果を総合して選抜します。
出 願 期 間	令和6年11月1日（金） ～ 11月6日（水）
選 抜 期 日	令和6年11月23日（土）
合 格 発 表 日	令和6年12月6日（金）
そ の 他	1. 推薦人員は、各高等学校等から5人以内とします。 2. 上記出願要件に疑問がある場合は、志願者の履修課程表を添えて文書で地域資源創成学部教務・学生支援係に照会してください。（出願期間以前でも可） 照会先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学地域資源創成学部教務・学生支援係 電話（0985）58-7847

2. 各学部・学科課程（コース・専攻）の配点

学部・学科等名		大学入学共通テスト							書類 審査	面接	小論文	筆記 試験	合計
		課す・ 課さない	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語 ※1	情報					
教育学部・学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主専攻	課す	200	－	200	－	200	－	400		200	－	1200
	小中一貫教育コース 中学校主専攻	課す	200	200 ※2			200	200 ※2	300		200	－	1100
	教職実践基礎コース	課さない	－	－	－	－	－	－	120		80	－	200
	発達支援教育コース 子ども理解専攻	課す	200	200 100	200	100 200	200	100	400		－	－	1400
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	課さない	－	－	－	－	－	－	140		60	－	200
医学部	医学科	課す	200	100	200	200	200	100	※3		－	－	1000
	看護学科	課す	200	－	200	－	200	－	※3	100	100	－	800
工学部	工学科	課さない	－	－	－	－	－	－	100	400			500
農学部	農学科 動植物資源生命科学コース	課さない	－	－	－	－	－	－	400		－	－	400
	農学科 森林環境持続性科学コース	課さない	－	－	－	－	－	－	400		－	－	400
	農学科 海洋生命科学コース	課さない	－	－	－	－	－	－	400		－	－	400
	獣医学科	課す	200	100	200	200	200	100	※4	200	－	－	1200
創地域学資源部	地域資源創成学科	課さない	－	－	－	－	－	－	※5	150	150	－	300

※1 大学入学共通テストの外国語において、英語を選択した場合、教育学部学校教育課程小中一貫教育コース、発達支援教育コース子ども理解専攻、医学部医学科及び看護学科においては、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ160点、40点とし、農学部獣医学科においては、それぞれ140点、60点とします。

なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。

※2 地歴・公民、数学、理科及び情報において、受験する科目のうち高得点の科目の成績を採用します。詳細は35ページを参照してください。

※3 合否判定の重要な資料とします。

※4 選抜の際の参考資料とします。

※5 面接において利用します。

3. 主体性評価について（農学部）

農学部では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、アドミッション・ポリシーの「1. 求める学生像」のうち、「主体性」「協働性」「学問への関心」（以下主体性等）に関連する素養であると考えています。このことを踏まえて、各学科等で定めた評価基準に基づき、調査書の記述（※注1）から主体性等を評価します。

※注1：調査書の「6.特別活動の記録」及び「7.指導上参考となる諸事項」の2つの項目に重きを置いて、学校内あるいは学校外で取り組んできた活動等について評価します。本学部では、それぞれの内容などから（ ）内に記載した素養や経験を読み取れると考えています。

6. 特別活動の記録（主として協働性）

＜農学科動植物資源生命科学コース、海洋生命科学コース及び獣医学科においては、各活動に従事した期間等を必ず「8.備考」に記入してください。農学科森林環境持続性科学コースについては記入不要です。＞

7. 指導上参考となる諸事項

- ・ 学習における特徴等（主体性・学問への関心）
- ・ 行動の特徴、特技等（主体性・協働性）
- ・ 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等（主体性・協働性）
＜部活動やボランティア活動の具体的な取組内容および活動期間、その活動における特徴や役割等を記載してください。＞
- ・ 取得資格、検定等（主体性・学問への関心）
＜民間や専門高校の校長会等が実施する資格・検定の内容、取得スコア、取得年次、取得時期等を記載してください。＞
- ・ 表彰・顕彰等の記録（主として主体性）

なお、「5. 総合的な探究の時間の記録」及び「8. 備考」の記述については、主体性等の素養や経験とみなせるものを加点対象とすることがあります。

また、文章の量は評価に関係ありません。

※農学部における調査書記入のポイントについては、以下のページをご確認ください。

https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/R7_suisen_sougou_survey.report.pdf